



## 2020年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年4月14日

上場会社名 株式会社セラク 上場取引所 東  
 コード番号 6199 URL http://www.seraku.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)宮崎 龍己  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理本部長 (氏名)小関 智春 (TEL) 03 (3227) 2321  
 四半期報告書提出予定日 2020年4月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年8月期第2四半期の連結業績(2019年9月1日~2020年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第2四半期	6,550	24.0	441	128.9	446	125.0	284	161.9
2019年8月期第2四半期	5,282	—	192	—	198	—	108	—

(注) 包括利益 2020年8月期第2四半期 286百万円(164.3%) 2019年8月期第2四半期 108百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第2四半期	20.67	20.65
2019年8月期第2四半期	7.89	7.89

(注) 当社は、2018年8月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年8月期第2四半期連結会計期間の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第2四半期	5,707	3,053	53.5
2019年8月期	5,370	2,811	52.3

(参考) 自己資本 2020年8月期第2四半期 3,051百万円 2019年8月期 2,809百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	—	0.00	—	3.20	3.20
2020年8月期	—	0.00	—	—	—
2020年8月期(予想)	—	—	—	3.40	3.40

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年8月期の連結業績予想(2019年9月1日~2020年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	22.7	770	5.8	780	5.8	470	6.6	34.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年8月期2Q	13,767,200株	2019年8月期	13,767,200株
2020年8月期2Q	39株	2019年8月期	39株
2020年8月期2Q	13,767,180株	2019年8月期2Q	13,762,546株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境に改善傾向が続く中、景気は緩やかな回復基調であったものの、長引く米中貿易摩擦、英国のEU離脱、新型コロナウイルスの世界的な広がり等、世界経済の減速リスクを孕んでおり、先行きが不透明な状況となっております。

当社グループが主にサービスを提供する情報産業分野においては、投資拡大が期待されるIoTサービス、ビッグデータやAIなど新たな技術の活用への投資が拡大し、またそれに伴い巧妙化するサイバー攻撃に対応するセキュリティサービスなど、活発に広がりをみせており、これら企業の需要に対応する質の高いITエンジニアの採用・育成の重要性が増しております。

このような環境の下、当社グループは積極的な人材の採用及び良質なエンジニアの育成によるサービスの価値向上に取り組むとともに、「みどりクラウド」による農業IT分野でのシェア拡大に注力してまいりました。また、ITエンジニアの人材流動化が加速している市況を踏まえ、新たに人材紹介事業を開始しております。

これらの結果、当社グループの売上高は6,550,727千円（前年同期比24.0%増）、営業利益は441,354千円（前年同期比128.9%増）、経常利益は446,229千円（前年同期比125.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は284,568千円（前年同期比161.9%増）となりました。

また、事業分野別のセグメント概況は、以下のとおりであります。

#### ① システムインテグレーション事業

システムインテグレーション事業においては、既存技術領域でのIT技術支援を推進し、長期安定的な分野であるITインフラ・クラウドテクノロジーや、デジタルクリエイティブ・WEB運営、WEBシステム開発などのサービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間においては、引き続き慢性的なIT人材不足を背景に「クラウド運用」「プロジェクトマネジメント」「デジタル・マーケティング」等の領域で順調に案件獲得が見込めることから、人材の積極採用及び育成に注力すると共に、ビジネスパートナー各社との連携強化による外部リソース活用に取り組みました。

これらの結果、当セグメントの売上高は5,231,936千円（前年同期比12.1%増）、セグメント利益は397,848千円（前年同期比39.4%増）となりました。

#### ② デジタルトランスフォーメーション事業

デジタルトランスフォーメーション事業においては、企業の情報資産を保護するサイバーセキュリティ、IoTやAI、データサイエンスを用いた課題解決、データの可視化やRPAによる業務の効率化、ITの活用で儲かる農業を実現する「みどりクラウド」といった、先端技術を用いたサービス提供を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、それぞれの技術領域におけるニーズの継続的な拡大により、売上は堅調に推移いたしました。更なる事業規模の拡大に向け、積極的に人材の採用を行っております。

また、農業向けサービスにおいては、畜産分野での新規顧客の獲得、みどりマーケットを実現するためのアライアンスの推進に取り組んでまいりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は1,117,154千円（前年同期比110.7%増）、セグメント利益は68,763千円（前年同期はセグメント損失38,489千円）となりました。

#### ③ 機械設計エンジニアリング事業

機械設計エンジニアリング事業においては、連結子会社である株式会社ピーズエンジニアリングでの3DCAD分野の技術提供、機械・金型などの受託設計サービス、実験や性能検査などの品質管理に関わる技術を提供しております。

自動車産業をはじめとする製品開発・設計の基本技術である3DCADや、品質管理に特化した人材の創出を促進すべく、積極的な採用・教育活動を行っております。

これらの結果、当セグメントの売上高は202,946千円（前年同期比141.3%増）、セグメント損失は20,271千円（前年同期はセグメント損失42,194千円）となりました。

## ④ その他事業

その他事業においては、連結子会社である株式会社セラクE C Aでの有料職業紹介・人材派遣・IT技術教育講座等のサービスを提供しております。

株式会社セラクE C Aでは流動性の高いIT人材市場において、高度IT技術者を多様な人材ニーズとマッチングさせることや、他業種も含めた幅広い分野の教育型人材サービスを提供すべく、求職者へのきめ細やかな対応と求人企業の新規開拓に取り組んでおります。優秀な人材の発掘とトレーニング及びマッチング率向上に注力し、各種業界への人材流入を促しております。

これらの結果、当セグメントの売上高は17,027千円（前年同期比650.1%増）、セグメント損失は4,985千円（前年同期はセグメント損失11,838千円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ336,760千円増加し5,707,487千円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が71,536千円、敷金及び保証金が52,018千円、現金及び預金が33,284千円、建物が29,718千円、仕掛品が15,149千円、流動資産「その他」が56,413千円、投資その他の資産「その他」が53,587千円増加したことなどによるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ95,312千円増加し2,654,348千円となりました。これは主に、長期借入金73,330千円、未払法人税等75,486千円減少したものの、未払金が190,407千円、賞与引当金33,432千円、買掛金が28,278千円増加したことなどによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ241,448千円増加し3,053,139千円となりました。これは主に、利益剰余金が240,514千円増加したことによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、資金という）の残高は、2,755,197千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、238,649千円（前年同期は54,756千円の支出）となりました。

主な要因は、法人税等の支払額241,888千円、売上債権の増加額71,536千円、前払費用の増加額70,696千円、たな卸資産の増加額25,197千円等の資金の減少要因があったものの、税金等調整前四半期純利益446,374千円、未払金の増加額113,541千円、賞与引当金の増加額33,432千円、仕入債務の増加額28,278千円、減価償却費11,123千円等の資金の増加要因が生じたこと等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、99,636千円（前年同期は90,730千円の支出）となりました。

主な要因は、敷金及び保証金の差入による支出54,013千円、保険積立金の積立による支出53,587千円等の資金の減少要因が生じたこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、106,830千円(前年同期は97,416千円の支出)となりました。

主な要因は、長期借入金の返済による支出65,330千円、配当金の支払額41,360千円等の資金の減少要因が生じたこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月期の業績予想につきましては、2019年10月15日の「2019年8月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,772,268	2,805,553
受取手形及び売掛金	1,597,154	1,668,690
仕掛品	18,034	33,184
原材料	28,634	38,682
その他	67,328	123,742
貸倒引当金	△2,689	△2,732
流動資産合計	4,480,730	4,667,120
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	72,425	102,144
工具、器具及び備品(純額)	13,947	17,155
建設仮勘定	—	9,350
その他	97	20
有形固定資産合計	86,470	128,669
無形固定資産		
のれん	34,217	29,655
ソフトウェア	26,267	25,868
その他	1,959	1,902
無形固定資産合計	62,445	57,426
投資その他の資産		
投資有価証券	222,440	221,718
繰延税金資産	279,521	287,829
敷金及び保証金	168,440	220,458
その他	70,678	124,265
投資その他の資産合計	741,080	854,271
固定資産合計	889,996	1,040,367
資産合計	5,370,727	5,707,487

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	39,748	68,026
1年内返済予定の長期借入金	136,215	144,215
未払金	806,252	996,659
未払法人税等	267,537	192,051
未払消費税等	263,997	266,550
賞与引当金	547,582	581,015
受注損失引当金	365	—
その他	161,993	125,945
流動負債合計	2,223,693	2,374,462
固定負債		
長期借入金	212,230	138,900
退職給付に係る負債	122,915	140,850
その他	196	134
固定負債合計	335,342	279,885
負債合計	2,559,036	2,654,348
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	297,974	297,974
資本剰余金	495,724	495,724
利益剰余金	2,018,270	2,258,784
自己株式	△32	△32
株主資本合計	2,811,937	3,052,451
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	972	471
退職給付に係る調整累計額	△3,159	△1,579
その他の包括利益累計額合計	△2,186	△1,107
新株予約権	1,940	1,795
純資産合計	2,811,690	3,053,139
負債純資産合計	5,370,727	5,707,487



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年2月29日)
売上高	5,282,145	6,550,727
売上原価	4,116,721	4,990,703
売上総利益	1,165,423	1,560,024
販売費及び一般管理費	972,579	1,118,669
営業利益	192,844	441,354
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,231	1,226
助成金収入	3,800	3,300
受取補償金	356	149
その他	696	970
営業外収益合計	6,085	5,646
営業外費用		
支払利息	570	521
その他	49	249
営業外費用合計	619	770
経常利益	198,310	446,229
特別利益		
新株予約権戻入益	56	144
特別利益合計	56	144
特別損失		
固定資産除却損	1,921	—
特別損失合計	1,921	—
税金等調整前四半期純利益	196,444	446,374
法人税、住民税及び事業税	115,603	170,589
法人税等調整額	△27,808	△8,783
法人税等合計	87,795	161,805
四半期純利益	108,649	284,568
親会社株主に帰属する四半期純利益	108,649	284,568

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年2月29日)
四半期純利益	108,649	284,568
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	241	471
退職給付に係る調整額	△432	1,579
その他の包括利益合計	△191	2,051
四半期包括利益	108,458	286,620
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	108,458	286,620

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年2月29日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	196,444	446,374
減価償却費	16,180	11,123
のれん償却額	4,562	4,562
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,692	43
賞与引当金の増減額(△は減少)	66,639	33,432
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	14,159	20,212
受取利息及び受取配当金	△1,231	△1,226
支払利息	570	521
有形固定資産除却損	1,921	—
売上債権の増減額(△は増加)	△208,287	△71,536
たな卸資産の増減額(△は増加)	△28,880	△25,197
前払費用の増減額(△は増加)	△61,977	△70,696
仕入債務の増減額(△は減少)	25,705	28,278
未払金の増減額(△は減少)	81,740	113,541
未払消費税等の増減額(△は減少)	△45,281	2,552
その他	18,664	△11,695
小計	79,238	480,287
利息及び配当金の受取額	1,231	766
利息の支払額	△554	△516
法人税等の支払額	△134,671	△241,888
営業活動によるキャッシュ・フロー	△54,756	238,649
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,201	△2,601
定期預金の払戻による収入	—	1,500
有形固定資産の取得による支出	△14,388	△2,164
無形固定資産の取得による支出	△11,512	△3,794
保険積立金の積立による支出	△53,587	△53,587
短期貸付金の純増減額(△は増加)	—	15,000
敷金及び保証金の差入による支出	△10,041	△54,013
敷金及び保証金の回収による収入	—	25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△90,730	△99,636

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△58,377	△65,330
リース債務の返済による支出	△2,335	△139
株式の発行による収入	324	—
配当金の支払額	△36,971	△41,360
非支配株主への配当金の支払額	△56	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△97,416	△106,830
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△242,904	32,183
現金及び現金同等物の期首残高	2,266,927	2,723,014
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,024,023	2,755,197

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2019年2月28日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益計 算書 計上額 (注3)
	システム インテグレ ーション	デジタル トランス フォーメ ーション	機械設計 エンジニア リング	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,667,287	530,298	84,089	5,281,675	470	5,282,145	—	5,282,145
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	1,800	1,800	△1,800	—
計	4,667,287	530,298	84,089	5,281,675	2,270	5,283,945	△1,800	5,282,145
セグメント利益又は セグメント損失(△)	285,367	△38,489	△42,194	204,682	△11,838	192,844	—	192,844

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有料職業紹介、人材派遣、IT技術教育講座等の事業であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去△1,800千円が含まれておりません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益計 算書 計上額 (注3)
	システム インテグレ ーション	デジタル トランス フォーメ ーション	機械設計 エンジニア リング	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,231,936	1,117,154	197,087	6,546,178	4,549	6,550,727	—	6,550,727
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	5,859	5,859	12,478	18,337	△18,337	—
計	5,231,936	1,117,154	202,946	6,552,037	17,027	6,569,065	△18,337	6,550,727
セグメント利益又は セグメント損失(△)	397,848	68,763	△20,271	446,339	△4,985	441,354	—	441,354

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有料職業紹介、人材派遣、IT技術教育講座等の事業であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去△18,337千円が含まれておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。